

故きを温ねて新しきを知る — 縄文道の視点から —

一般社団法人 縄文道研究所
代表理事 加藤春一

1

北海道、東北 3県—青森県、秋田県、岩手県の縄文遺跡が
世界遺産に登録予定——2021年7月末

世界はこの1年半、新型コロナウイルスの影響で、人類史上、人間の命、更には生き方、健康への重要性が、本質的問われ、新たな時代への生き方、働き方を、全世界レベルで考える時代に入った。人間自然科学研究所の小松昭夫理事長の提唱する環境、平和、健康は極めて時宜を得た普遍的な3つのメッセージである。—パラダイムシフトの時代

2

この様な世界の危機にあたって、世界の識者が様々な見地から発言しているが、注目されているのは、世界的ベストセラー「ホモサピエンス」の著者、イスラエルの哲学者、歴史学差 ユバル・ノア・ハラリ博士の発言だ。

「現代人は科学技術文明の発達で文明の恩恵を受けて便利で、快適になり、本来の五感、六感、直観が退化している。狩猟、漁労時代の人間本来の本能的な力を取り戻すべき」
—縄文時代への評価—

3

又縄文文化に大きな理解を示す、世界的な地理学者、カリフォルニア大学のジャレッド・ダイヤモンド博士は、日本は少子高齢化での人口減少を歓迎すべきだと主張している。論拠は、日本が資源輸入国である故、より自給率を高めることが可能。人口の減少より国民の創造性と生産効率を上げれば、土地も有効活用でき、幸せになれる。環境に優しい社会が実現しやすい。

この論理は、世界人口が産業革命以降過去200年間で7倍に増えて、地球の資源が枯渇、地球環境の破壊が進んでいることから、縄文時代の様な自然との共生社会に舵を取る必要がある。

—環境問題への視座は縄文時代の自然との共存、共生社会が模範—

4

世界の戦争、紛争、対立、テロの蔓延

対立の原因—日本の縄文時代はユートピア—対立、紛争は農耕社会到来と豪族の台頭で—土地と水と自然資源と利権確保の陣取りで発生した。—現代は国家と国境

正—反—合 の論理での相手との交渉

妥協、和解、外交で日本の優位性を示せ。

——縄文時代は武器を持たず、

弥生人と混血し融合し日本化していった。

出雲は大和の国の発祥の場所で、縄文文化と弥生文化を融合化して大和化した場所である。世界へ和の精神をもって、正反合の論理—小松理事長の考え—で敵対国とも理解と妥協とで和解する平和思想を実現願いたい。

5

現代の世界人にとって新型コロナウイルスは健康、長寿への危機である。日本は世界有数の長寿王国である。長寿社会とは生命が高く評価されている社会だ。この長寿の秘密は縄文時代からの文化の歴史に隠されていると思う。

6

—縄文文化に何故魅せられたのか—回顧
3 2 年前 西豪州パースの陶芸クラブ

- ・ 岡本 太郎 4次元との対話—縄文土器論 上野国立博物館
縄文土器との出会い
- ・ 世界的陶芸家 人間国宝縄文象嵌作者 島岡達三氏との劇的出会い
- ・ 5大陸、日本の57か所の博物館、美術館での世界の土器、陶器
の作品との出会いで縄文土器の凄さを認識

以上の経験を踏まえて縄文文化を数字と現代との関連で俯瞰してみたい。

縄文文化はダイナミックであった。

縄文土器はシベリアを通過して西へ—ヨーロッパへ影響。縄文人のミトコンドリアDNAはアメリカ大陸カナダから南アメリカチリまでの原住民と一致。東西へダイナミックな流動性があった。

7 数字で見る縄文文化

期間：約13,000年 草創期（約5,000年間）早期（約4,500年間）
前期（約1,530年間）中期（約1050年間）後期（約1,200年間）
晩期（約820年間）
全日本で毎年約7,000カ所の縄文遺跡が発掘され約1,600の報告書が
文化庁に出る。全国で約90,000遺跡有り。

衣食住：衣生活—猪、鹿等の皮—アングイン織り—重ね着—着物—平安 十二単
三宅 一生 パリコレクション 「セッションワン」の衝撃
食生活—1,500種類 貝類350種 魚類200種 ほ乳類60種
鳥類 80種 海草類90種類 クリ、ゴボウ 根菜
鍋料理は縄文料理の代表 全国に約50以上が代表的
日本の旨味（昆布、かつお、きのこ）の源泉
住生活—草創期、早期—一定住前は洞穴定住後 竪穴式 日本で350発掘
隈研吾教授のオリンピックメインスタジアムは木を使用—
縄文竪穴住居が原型

寿命 身体：男女とも30—35才 身長 男—157—160センチ
女—147—150センチ

人口 推移：数千人 から 中期が最大26万人 その後漸減 弥生と同化

輸送手段：海上、湖上、河 は 丸木舟 最長7.4メートル 160隻 発掘

漆文化：約1万数千年前（北海道の遺跡から発掘）

DNA 鑑定：齋藤 成也 東大教授 現代日本人 平均 縄文人DNA12%保有
国際結婚は平均5% 異種DNAが増える。

8 縄文文化の発見に貢献した3人

- ・ エドワード・モース 1877年6月来日 同年9月 大森貝塚 発見
3度来日、東大教授 関東大震災後 蔵書14,000冊東大へ寄贈
縄文土器 (code-marked earthenware) の命名者
- ・ 岡本 太郎：1951年11月7日 上野国立博物館にて初めて
縄文土器に直面
翌年 雑誌みずえ に「4次元との対話—縄文土器論」を发表
(この論文に触発、1988年10月 縄文土器に初めて対面)
- ・ 梅原 猛：1995年 三内丸山 発見以降 環境論、平和論から縄
文文明論展開 他文明は砂漠化 日本は森林70%維持、殺傷率1.8%
(現時点では) 武器持たない

縄文文化と縄文土器を高く評価した外国人と日本人3名

レビーストラウス博士

ジャレッド・ダイヤモンド博士

小林 達雄 國學院大學名誉教授

9 縄文道は日本人の歴史認識修正

- ・ 第二次世界大戦の敗北後、GHQの占領政策で、縄文時代は国史の教科書から抹消され、単に野蛮な原始社会と記載され、日本人に摺り込まれた。
- ・ 戦後74年の平和な時代を通じて
- ・ 考古学と発掘技術の発達
- ・ コンピューターによる情報処理の発達
- ・ 科学的手法による分析、解析技術の発達
- ・ DNA研究の進歩、発展
- ・ 考古学者、文化人類学者、歴史学者の研究が進み情報交換が緊密化

—日本人観の根本的変革—

刷り込まれた日本人観——弥生的文化—農耕民族、島国、小国——神道、天皇制とともにGHQより抹消（柔道、剣道、空手道も禁止）

縄文文化—狩猟、漁労、採集 民族又海洋民族

縄文文明論—従来の文明論からの転換

野人的、野生的、危機意識、リスクテイカー—創造的
普遍的要素：自然との共生、平和の尊重、母性の尊重、富の公平

10 縄文道とは武士道とあわせて未来道

普遍の道——国連のSDG'sと価値観が一致

自然の道——自然との共生、共存

平和の道——殺傷率1.8%

武器を持たない

母性の道——男女共同参画の社会

平等の道

——貨幣社会では無いが富の平等性があった平和な時代であった。

大和の道——

芸術の道——大和の美意識 陶磁器、絵画、彫刻、庭園 全て

技術の道——創意工夫の匠の道 鉱物資源 118元素が基本

酸素、シリカ、アルミナ、鉄 がトップ3でこれらを扱う。

地球の土——シリカ、アルミナ、NA/KAl 粘土 カオリナイト

土器、土師器——六古窯（備前、丹波、越前、信楽、常滑、瀬戸）

1223年—1228年 —陶祖 加藤 藤四郎景正は道元に随行

して南宋を訪れ、中国陶磁器の技法を学び、帰国後瀬戸に開祖。

1592年—1598年 文禄、慶長の役 約20,000人の

朝鮮半島の陶工を連れてくる。九州の伊万里で李 参平が

1612年 伊万里焼き—磁器—の製作に成功 その後約40年間

東インド会社を通じて約400万個の磁器を欧州貴族に輸出。

1700年初頭 ドイツのザクセン オーグスト侯がベドガーに伊万里焼き模倣させて

マイセン焼きを完成。その後ヨーロッパ中に磁器技術が伝播する。アウガルデン、

ロイヤルコペンハーゲン、リモージュ、セーブル、デルフト、ウエッジウッド

1868年以降 陶磁器は日本の主要3大輸出産品であった。

1980年代 半導体の時代到来 原料はシリコンウエハー—9イレブンのシリカを使用

武士道——紀元前660年 神武天皇以降、神道、仏教、儒教、道教

道徳規範 武道の美意識、武術

超グローバル時代到来で縄文道と武士道あわせて日本人のアイデンティティー

を対外的に説明可能

結論

縄文道の世界への発信には具体的な形で世界へ発信の必要がある。
日本発で今後世界に訴えるパワーがあるのは動と静のコンビネーションでの合気道
—140万 女性半分 日本武術の完成した形。相手の力を利用した護身術。座禅——
世界に、特にリーダーに広がっている。アップルのステーブジョブズや多くのカトリ
ックの司祭も実践している。

又アートを通じて縄文の村興しを新潟県の奥阿賀で展開しているコスモ夢舞台の
佐藤賢太郎理事長の活動も16年に亘って、地道に行われている。

又世界に日本の心センターという、日本人の心を世界に発信する代表 土居征夫氏もい
る。土居先生はインターネットでの座禅も行っており、初心者として参加している。

日本が今後世界に発信できる精神文化は土居先生が推進している座禅と、もうひとつ
合気道がある。相手の力と気を柔軟に身を熟して自分を守る日本武術の完成形の合気
道である。現在合気道を学んでいる師範は真中流の中村義一先生である。アメリカ、
カナダで20年間、現地人を教授してきた実績を誇ります。

縄文遺跡が世界遺産に登録される記念すべき今年が、コロナで苦難の最中でありま
す。然しコロナも人類は必ず克服すると確信します。
そしてここ出雲から故きを温ねて新しきを知る 環境、平和、健康のメッセージが世
界へ発信され、世界の環境問題、平和の問題、命の尊厳—健康の社会形成への一助と
なればと思います。

加藤 春一 プロフィール

瀬戸の陶祖 加藤 藤四郎景正（分家）23代目 1944年 満州 大連生まれ
母方は最も縄文的人財輩出県 高知（土佐）
異骨相（イゴッソウージョン万次郎、坂本龍馬、岩崎 弥太郎等々）の血筋を引く
上智大学経済学部卒

双日（元日商岩井）にて30年間 資源ビジネスに関わる
世界5大陸56カ国と主要鉄鉱山を訪問

シドニー、台湾、ポートランド、パース、ブルッセル含め18年間海外生活を経験。
約20年間 エグゼクティブ サーチコンサルタントとして約15,000人の経営者と出会った。
約100人の社長をプレイヤーとして紹介決定実績有り

元東京エグゼクティブ・サーチ（株）代表取締役社長
元日本人材紹介事業協会常任理事 教育研修委員長

IIP（インターナショナル テクノロジー パートナーズ）＝世界のヘッドハンターの連合体
元コーン フェリー アメリカ副社長 ポール・コーズ ヨーロッパ ハイドリック ストラッ
グルズ元社長 エチエン・リーナーズ等 主体の日本代表（2,000年―2,015年15年間）

著書：「世界一美しい町 パース」一国会図書館永久保存版
「能力Qセルフプロデュース」
「グローバル人財養成塾」

元兵庫県立大学非常勤講師 明治大学リバテアアカデミー講師

2018年1月12日「縄文道」特許庁 商標登録取得

2020年1月7日「新縄文人」特許庁 商標登録済み

現在「縄文道経営」を申請中

マスコミソフィア会常任幹事、日米協会会員 日本ベルギー協会会員

日本イスラエル商工会議所会員 ソフィア経済人クラブ名誉理事